5 学年題材指導計画⑧

きれいな音のひびきを見つけ合おう（４時間扱い）

１．題材のねらい
○楽器の音色や特徴を感じ取って聴くことができるようにする。
○重なり合う美しさを感じたり表現の仕方を工夫したりして合奏できるようにする。

２．教材について
（１）フィドル・ファドル（リロイ・アンダーソン作曲）＊オーケストラ鑑賞会演奏曲
《学習指導要領との関連》B(1)ウ
現代アメリカの有名なアンダーソンが作曲した曲である。『フィドル』というのは，ヴァイオリンの別名であり，特に民謡などを演奏する時にそう呼ばれることが多く，弓で弦をゴシゴシこするのが演奏の特徴である。ここでは，その奏法の面白さに気付かせ，また，ヴァイオリンの音色の美しさを味わって聴くようにしたい。

（２）愛の喜び（クライスラー作曲）＊オーケストラ鑑賞会演奏曲
《学習指導要領との関連》B(1)ウ
ウィーン地方に伝わる古い民謡をベースにしたワルツ形式の曲である。ヴァイオリンがうきうきと弾むような心の高揚を歌い上げている。そのため，ヴァイオリンの音色の美しさと共にその軽快な演奏も楽しむことができるのでその良さを味わって聴くようにしたい。

（３）美しきロスマリン（クライスラー作曲）＊オーケストラ鑑賞会演奏曲
《学習指導要領との関連》B(1)イ
ロスマリンとは，香りの高い花を咲かせる植物の名前で別名ローズマリーのことである。テレビでも流されたことのある楽曲で，広く人々に親しまれている。ウィンナ・ワルツ調で，明るく弾むような愛らしいメロディに始まり，叙情的な旋律が歌われ，最後は始めに戻って軽やかに終わる構成となっている。それぞれの曲想の変化を味わいながら聴けるようにしたい。

＊選択教材

（４）ピアノ五重奏曲「ます」第４楽章（シューベルト作曲)
《学習指導要領との関連》A(1)イ，A(2)イ，A(3)イ，B(1)イ，B(1)ウ
シューベルトが２２歳の時に作曲した曲である。ピアノ五重奏は普通，ヴァイオリン２・ビオラ・チェロによる弦楽四重奏にピアノを加えた編成が広く用いられているが，シューベルトはこの曲でコントラバスを加えたピアノ五重奏の編成を用いて，低音域の充実を図った。主題は親しみやすい旋律で，ほとんどの変奏にそのイメージがくっきりと残されている。そのため，主題が変奏されていく様子を感じ取りやすい。いろいろな楽器でその主題が演奏されているのでそれを味わいながら鑑賞することができる教材である。
また，この曲の主題をもとにした表現教材もあり，この曲の響きのエッセンスがよくまとめられているので，その美しい響きを味わいながら演奏を楽しませたい。

（５）威風堂々　第１番（エルガー作曲）
《学習指導要領との関連》A(1)イ，A(2)イ，A(3)イ，B(1)イ，B(1)ウ
イギリスの作曲家エルガーの作品である。エルガーは，この「威風堂々」のタイトルで５曲の行進曲を書いているが，最も知られている曲である。また，CM でも使われており，子供たちにはとてもなじみの深い曲である。曲は，勇壮な序奏で始まり激しく動く旋律が続く。その後で，この曲のなかで一番有名な部分の中間部が広がる。この中間部のゆったりと流れる旋律は厳かな曲想で始まり華やかに反復される。オーケストラ演奏のいろいろな楽器の組み合わせによる音色や響きの変化を楽しんで聴くことができる教材である。
また，主旋律に和音と低音が加えられた合奏で演奏することができるので，楽器の選択の仕方や組み合わせ方によっていろいろな音の響きを感じながら自分たちなりの合奏を楽しませたい。

3．題材の評価規準

	ア　音楽への 関心・意欲・態度	イ　音楽的な 感受や表現の工夫	ウ　表現の技能	エ　鑑賞の能力
題材の評価規準	楽器の音色や響きを味わったり，使う楽器を選んだりして小アンサンブルの器楽表現の仕方を工夫しようとしている。	曲想を感じ取り，楽器の音色や響きを生かして器楽表現の仕方を工夫している。	主旋律や副次的な旋律，和音，リズムなどに分かれて，曲想を生かして演奏している。	楽器の音色の違いや曲想の変化を感じ取って聴いている。
学習形態における具体の評価基準	①楽器の固有の音色の美しさや響きを味わって聴こうとしている。 【Aと判断するキーワード】 □曲想に合った身体表現 □積極的な聴き取り □楽器の種類とその響きへの関心 ②グループで協力しながら，小アンサンブルの器楽表現の仕方を工夫しようとしている。 【Aと判断するキーワード】 □積極的な取組み □話合いをリード □表現の工夫の複数提案	①曲想にふさわしい楽器の組合せや器楽表現の仕方を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 □曲想表現の工夫 □他の楽器とのバランスを考えた工夫 ②快いと感じるパートバランスや強弱など曲想に合った演奏の仕方を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 □速度の変化も付けて □積極的な意見発表	①読譜に親しみ，ハ長調の楽譜を視唱している。 【Aと判断するキーワード】 □スムーズな読譜 □正しい音程での視唱 □友達への積極的なかかわり ②リズムや音に気を付けながら演奏している。 【Aと判断するキーワード】 □正確なリズムに合った演奏 □スムーズな運指 □拍感に合わせた演奏 ③小アンサンブルの活動の中で，美しく響きあう音を探りながら演奏している。 【Aと判断するキーワード】 □練習を率先して □友達への積極的なかかわり □曲想表現を生かした演奏 ④楽器の音色や旋律，強弱や速度などの要素を感じ取って演奏している。 【Aと判断するキーワード】 □積極的な態度 □スムーズな運指とフレーズを意識した演奏	①楽器の音色の違いや特徴を聴き分ける。 【Aと判断するキーワード】 □積極的な取組み □違いを聴き分けた上での音の響き合いへの気付き ②曲想の変化を感じ取って聴いている。 【Aと判断するキーワード】 □曲想の変化に合わせた身体表現 □積極的な発表

4．指導と評価の計画（6時間扱い）　○：取り扱い項目　◎：取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体の評価規準	指導要領との関連	内容のまとまりとの関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	

1	○オーケストラの生演奏を聴く。 【フィドル･ファドル】 **・主旋律を演奏しているヴァイオリンの音色を味わって聴く。** 【愛の喜び】 ・使われている楽器の音色に気を付けて聴く。 【美しきロスマリン】 ･曲想の変化を感じ取りながら聴く。	 **エ－①** エ－① エ－②	 **B(1)ウ** B(1)ウ B(1)イ				 ◎ ○ ○	行動観察 学習カード
2	＊選択教材 【ピアノ五重奏曲「ます」第 4 楽章】 【威風堂々第 1 番】 ○それぞれの範奏を聴く。 ･曲想の変化を感じ取りながら聴き，感じ取ったことを話し合う。 **・演奏している楽器の音色に気を付けながら聴く。** ・主題を意識して聴き，主題が変奏されていくことに気付く。 ○それぞれの主旋律を楽器で演奏する。 ・主旋律を階名視唱する。	 エ－② **アー①** ウ－①	 B(1)イ **B(1)ウ** A(1)イ		 ○		 ○ ◎ 	行動観察 発表 学習カード 表情観察 歌唱聴取
3	○演奏する曲を選んで練習する。 ・それぞれの楽曲の主題部分を，楽器を選んで演奏する。 ・演奏したい曲を選ぶ。 ・楽曲の感じを生かしながら，演奏したいパートや楽器を選んで練習する。 ○合奏の練習をする。 ・グループごとに演奏する分担について話し合う。 **・選んだ楽器で担当の旋律を練習する。**	 ウ－② イ－① **ウー③**	 A(3)イ A(2)イ **A(3)イ**		 ○ ○ ◎			演奏聴取 行動観察
4	○楽器の特徴を生かして合奏する。 ・演奏の仕方の工夫について話し合う。 **・音量やパートの人数のバランスを考えて合奏する。** ・テンポを確かめながら合奏する。 ○それぞれのグループごとに発表する。 ・工夫したところを話してから演奏発表をする。 ・互いの楽器の選択や音の重なりに気を付けて聴く。	 ア－② **イー②** ウ－④	 A(2)イ **A(2)イ** A(3)イ		 ○ ◎ ○			行動観察 演奏聴取 学習カード